

平成30年度 12月定例教育委員会議事録

1. 日 時 平成30年12月7日(金) 15:30~17:30
2. 場 所 コミセンおの 306号室
3. 出席者 教育長 陰山 茂
教育委員 西村賢一・小林道美・河嶋栄里子・藤本真理
事務局 橋本教育管理部長・小西教育指導部長
上原教育総務課長・松田いきいき社会創造課長
駒田スポーツ振興課長・教育総務課 谷口
傍聴者 1名

4. 会議内容

(1) 開会あいさつ 教育長

(2) 前回議事録確認 全委員一致で承認

(3) 協議(報告)事項

各課長より資料により主要事業の進捗状況等の説明を行い、教育委員の意見を聞く。

①不登校児童生徒の状況

- ・不登校ゼロ運動「新ほほえみアクションプラン」に基づき、市内小中学校全校同じスタイルで不登校対応をしています。
- ・欠席者早期対応として、1日目は学級担任が激励電話をし、体調不良以外は家庭訪問をします。2、3日目は学級担任が家庭訪問をします。4日目以降はチームを組んで組織的な対応をします。
- ・児童生徒の状況により専門機関に繋げる、また、睡眠障害等の症状を疑われる児童生徒については早急な支援や受診を勧めています。
- ・学校別長欠・不登校状況調査集計表、月毎の長欠・不登校状況調査集計表により、市全体の長期欠席不登校児童生徒の状況をまとめ、対策をとっています。(10月末現在の不登校状況調査各校集計表を提示し説明)
- ・管理事項に関すること、警察、消防事案、児童生徒の問題行動、教員の非違行為、児童生徒の家庭や健康に関する情報、新聞掲載事案、保護者や地域住民からの苦情は、各校からの報告で情報共有しています。
- ・事故、けが、急病については、スポーツ振興課で対応しています。
- ・4号報告については、校務支援システムを導入しており、11月から旭丘中学校で試験的に運用しています。校務支援システムのメリットは、知りたい

情報を一覧として見ることができ、市内小中学校で情報共有ができていますので、的確な指導に繋がると考えています。

②小学校英語導入に関する各小学校の取組みについて

- ・小野小学校は、ワークシートを有効活用し、「書く活動」を確実に設定しています。
- ・来住小学校と市場小学校には、英語専科教員を加配しており、学級担任、ALTの3人体制での指導で効果を上げています。
- ・市場小学校では、3年生から6年生まで計画的な発音指導（フォニックス）を通して、発音と単語習得が自然にできるようなしくみを構築しており、小中連携による外国語（英語）の交流活動もしています。
- ・中番小学校では、1年生から英語で挨拶をすることを始めています。
- ・教室内のいろいろな場所に、単語を書いた紙を貼り付ける取組みに意欲を出す学校が複数あります。
- ・各校、定期的に英語の授業を行っており、書くことにもチャレンジしています。担当である下東条小学校長を中心として、各校連携した英語教育を推進したいと思います。

【意見】

- ・英語専科教員の加配も大事ですが、教科担任制で取り組まないといけないと思います。
→年度途中で県から教科担任制導入の意向が出ました。時数の関係で難しかったのですが、今後、教科担任制の導入に取り組んでいきます。加配の増員も確実にあるとのこと。
- ・教材フォニックスのどの部分を使われていますか。
→プリントと絵で見る部分等を使っています。教育委員会を窓口とし、各校の情報を学力向上委員会で提示し、各校共通理解をしているところです。
- ・教科担任制は4月から導入されるのですか。
→3学期に英語教科担任の先生方の研修を行うよう担当の下東条小学校長に依頼しています。

③スマートフォン等の使用状況とその指導について

- ・本日の神戸新聞に「ネット依存うちの子に限って」、「親の把握は4%台」という記事が掲載されました。
- ・スマートフォン、ゲーム等についての市内統一の指導事項（ルール）があり、小学校は、保護者と児童会の意見で、中学校は、生徒会で決めたルールです。小・中学校ともほぼ同じ内容で、「ルールを守りましょう」ということを進めています。

- ・市内小・中学校のスマートフォンの所持率の聞き取り結果を見ると、保護者の意識が表れていると思われます。中学校は小学校に比べ所持率が高くなっています。自制心の強い生徒が多いので、使用時間一時間以内は半数の生徒が守れています。一方、ゲーム依存やネット依存で不登校傾向にあり、医療機関にかからないといけない生徒も現れています。
- ・今回、各校に聞き取りを行ったところ、すぐに回答があったことから、学校では、スマートフォン等使用の現状把握と対策を練っているということが分かりました。必要なのは保護者指導ではないかと思えます。

【意見】

- ・スマートフォンを持たせるのは、仕方がないのかも知れませんが、使い方について何度も大きな声で言い続けることが大事だと思います。
- ・PTAも含め小学校でインターネット等についての講演会が行われていたもので、危険な人物や危険な事が潜んでいるということが意識づけされており、成果は表れているのではないかと思います。
→加工した自分の写真を簡単にSNSに載せたりするのは、今後注意していかなければいけません。
- ・不登校児童のうち、ネット依存の児童数はどれくらいですか。
→ゲーム障害で診断を受けている児童は市内で3人いますが、治療となると半年先の受診になるそうです。
- ・市全体で保護者も含めた統一したアンケートを取って下さい。また、保護者に対して、スマートフォンやゲームによる学力の低下やゲーム脳の怖さをしつこく伝えて下さい。「あとは自己責任です。」ということも伝えないといけません。
→保護者に対して、強く指導していかないとはいけません。

④教員の「働き方改革」について

- ・教員の勤務時間については、各校長が管理されています。最終退勤者は管理している警備保障会社の報告書で確認ができます。
- ・9月から11月の部活動練習状況調査では、概ねガイドラインに沿った活動になっています。先生方も協力的で、部活動における時間外勤務は、先生によっては、月16時間程度は削減されています。(調査結果を提示し説明)

【意見】

- ・小野市は教員の勤務時間をパソコンのオン、オフの時刻で管理しています。
→教員の仕事は時間に換算できないので、適正に図ってほしいと思います。
→時代の流れとともに、働き方改革はしていかないとはいけません。

⑤ ブロック塀対策の進捗状況

(学校敷地内のブロック塀)

- ・小野中学校運動場周辺のブロック塀は、12月4日から西校門から北側に向かって撤去作業に入っています。

(通学路に面したブロック塀)

- ・6月下旬に市民安全部防災グループから「ブロック塀の点検」のお願い文書を全戸配布しました。教育委員会では、各小中学校から「通学路に面したブロック塀等の自己点検」のお願い文書を、通学路の面したブロック塀の所有者に配布しています。
- ・地域振興部まちづくり課から、「小野市危険ブロック塀等の撤去費用補助制度」の概要をまとめたチラシを、広報おの11月とともに全戸配布しています。教育委員会では、各小中学校が戸別訪問の上、「危険ブロック塀等の撤去費用補助制度」の紹介と活用のおお願い文書を配布しました。
- ・学校から配布された文書に基づく相談が早速数件あり、11月末で相談が69件、申請が20件あり、うち9件が通学路とまちづくり課から情報を得ています。

【意見】

- ・ブロック塀について、早急に対応していただき、保護者も地域の方も喜んでおられると思います。

⑥ 堀井城跡整備事業について

- ・11月から3月まで城内造成工事を施工します。
- ・(仮)堀井城跡歴史公園の面積は13,000㎡あり、外周約400mをウォーキングロードとして整備します。
- ・城内北半分を芝生のグランドゴルフ専用コースとし、南半分を土の多目的広場とします。
- ・グランドゴルフのコースは15m、25m、30m、50mの4種類の距離があり、それが各2コース、計8ホールあります。直線、左右の曲線、アップダウン等特色のあるコースとしています。
- ・本コース案について、グランドゴルフ利用者にアンケートし、意見をいただきたいと考えています。

⑦ 成人式について

- ・来年、1月14日(月・祝)午前10時からうるおい交流館エクラにて、成人式を開催します。

⑧図書館の整備計画について

- ・現在、実施設計を作成中で、来年1月末に完成します。
- ・平成31年度の計画は、平成31年4月末に入札案件の締切り、5月末に入札、工事契約期間は6月～12月とし、10月～11月末までの2カ月を図書館の休館期間とする予定です。

⑨コミセンおのの移転事業について

- ・コミセンおのは福祉総合支援センターへ移設する方針です。

⑩小野ハーフマラソン大会の結果報告と評価

- ・参加人数については、申込者5,723名で、当日参加者数5,038名（うちリタイア137名）、参加率88%でした。
- ・1.5kmについては、来年以降、危険防止のため1分差で部門を分けてスタートすることを考えています。
- ・例年は関門規制にかかる人数が、全ての関門合わせて50名位でしたが、今年は10kmの第一関門の規制にかかったランナーが非常に多かったです。ホームページや大会プログラムで周知していたものの、関門があるという事を聞いていないとの苦情があり、対応しました。
- ・小野市のランナーでは、ハーフで3名、1.5kmでは小中学生10名が入賞しています。
- ・ランナーのためのサイト「ランネット」には、当日すぐに書き込みをされる方が多く、批判的なご意見は少なく、高い評価を頂いています。

⑪小野市総合体育館の今後の整備計画

- ・平成29年度、老朽化している総合体育館（平成4年に新築）について、現況調査を実施しました。
- ・平成30年度、現況調査の結果をもとに、計画的な改修・大規模改修・建替え等の方向性を検討しました。今後20年間の総合体育館改修費用は、長期修繕計画では約22億円、大規模改修の場合は約24億円、建替えの場合は約45億円。よって、大規模改修するメリットは少なく、建物自体はしっかりしているので、緊急性を要するものから改修していく方向です。
- ・今年度は、1月から2月の間休館し、総合体育館内の温水プール可動屋根の車輪交換工事をします。
- ・平成31年度は、長寿命化事業を対象とする事業債を活用するため、個別施設計画を作成する必要があります。

⑫黒川浄谷多目的運動広場の整備状況

- ・まちづくり課で工事を進めており、フィールド内の人工芝は平成30年8月に完成しました。全天候型トラックは10月から工事に入っており、平成31年7月に完成予定です。並行して管理棟の工事も進んでいます。
- ・陸上競技場については、平成31年12月1日の市制記念日に4種公認認定を受ける予定です。
- ・来年度6月議会に、陸上競技場の設置及び管理に関する条例・施行規則制定の議案を提出する予定です。
- ・平成32年1月からネット予約ができるように、平成31年7月頃までにネット予約システムを構築する予定です。
- ・平成32年3月に竣工式とオープニングイベントを予定しております。
- ・平成32年4月供用開始予定で、完成後の維持管理はスポーツ振興課で行います。

(4) 次回定例教育委員会予定

1月25日(金) 13時30分 205号室

(5) 閉会あいさつ 教育長